

田島東部まちづくり推進委員会

委員長 檀浦 五朗

（問合せ先） 084-986-3535（内浦交流館）

事業内容

- （1）次世代育成・研修事業（地域文化伝承・先進地視察研修）（5月～3月）680人
- （2）人権啓発・生涯学習事業（東部文化祭・地域別住民学習・生涯学習）（5月～3月）600人
- （3）運動推進事業（ウォーキング大会）（3月4日）46人
- （4）ふるさと再生事業（水仙の里再生・整備・発信・地域美化活動）
（5月～3月）約5,000人
- （5）地域支援事業（困りごと相談・イベントボランティア）（5月～3月）
- （6）情報発信事業（SNSを活用した事業の発信）（5月～3月）72人
- （7）まちづくり運営事業（諸会議開催等）（通年）



地域文化伝承（ろこぎ教室）

成果

コロナ感染対策に注意を払いながらの事業実施を余儀なくされたが、概ね事業を実施できた。

ただし、先進地視察事業は危険性が高いと判断し、早期に事業変更を行い他事業へ予算を組み入れることができた。

課題

2022年度から新規に設けた2部会は、今後、工夫改善の余地があると組織判断している。役員で知恵を出し合い、よりスムーズな事業運営と事業効果が得られるよう努めていきたい。

課題解決にむけて

- ・高齢者が多く住む地域だが、情報発信事業を数多く展開し、スマホが暮らしの中の便利ツールになるよう啓発していきたい。
- ・地域支援部会の取組は時期尚早であった。他者の力を借りることを許容できる意識を高める必要がある。
- ・フレイル対策事業への取組を強化したい。

スマホでシニアの暮らしを楽しく便利に！

「高齢者の高齢化」に対応するまちづくり事業

～スマホ講習会の開催～



スマートフォンの機能やアプリを活用することで、シニアの暮らしを楽しく、便利に、豊かに、安全に過ごせるよう交流館を舞台に11回、開催しました。

2023年度以降も継続して取組み、田島東部の高齢者が安心して暮らすためのツールとして定着するよう取り組んでいきます。



スマホで学び合った内容

- ・健康管理
- ・音声検索
- ・ナビ機能
- ・カメラ機能
- ・時間管理
- ・通話機能
- ・お財布機能
- ・LINE機能



75歳以上の人口が25%強を占める田島東部。後期高齢者と呼ばれるその年齢層の予備軍も数多く控えています。

商店はひとつも無く、自家用車が必須な町です。しかし、いつかは免許返納の時期がやってきます。そんな時、必要なのは「地域の助け合い」「スマホ」なのではないでしょうか。

スマホの機能をマスターすれば、通販や近所の人に助けを求めることができます。自分自身の健康管理をすることもできます。離れて暮らす家族とも顔を見ながらつながることもできます。シニアの暮らしを楽しく、便利に安全にするツールとして使うことができます。

また、スマホの危険性にもふれて、高齢者が安心してスマホを使えるよう講習内容を工夫しています。

将来的には、この町の情報が知りたい時に活用できるシステムを構築することも考えています。「高齢者の高齢化」という地域課題解決の一助となるようスマホ講習会を継続して開催していきます。